

第 72 回常任理事会議事録

日時：平成 17 年 12 月 17 日（土）17：00～19：30

場所：東洋大学白山校舎 3 号館第 2 会議室

出席者：杉山，安藤寿，安藤典，浮谷，内山，川野，北村，首藤，文野，山崎

事務局員：加藤 委任：黒沢，菅原，松田，村井

報告および審議

1. 機関誌編集委員会（首藤委員長）

14 巻 2 号を 2 月に発行予定。14 巻 3 号は，特集論文のみとする予定。

投稿状況について，11 月は，新規投稿，採択，不採択，審査中の順に，原著（4,1,2,14），資料（審査中のみ 2），展望（0,1,0,1），ショートレポート（4,1,0,11），合計（8,3,2,28）となっている。現在採択済みの論文は，原著 3，展望 1，ショートレポート 1 本。

電子投稿は，来年 4 月 1 日より開始予定で，テスト試行を行っている。

執筆要項について，日本心理学会の「執筆・投稿の手引き 2005」に沿った形式にし，第 15 巻より適用する。

ショートレポートの分量の変更について，学術論文としての形式を整えるため，100 語以内の英文アブストラクトをつける。図表も換算して含めた総文字数はそのまま 4500 字以内とし，刷り上がりを 3 ページ以内とする。第 15 巻から適用する。

15 巻特集テーマについて検討を行った。

2. 広報委員会（文野委員長）

ニューズレター No.22 を 3 月末に発行予定。ミニ特集は，「近接領域からみたパーソナリティ（仮題）」。神経生理学や行動遺伝学，文化人類学，ジェンダー論などの近接領域において，パーソナリティがどのように扱われているかを執筆してもらう。

選挙の実施に伴い名簿確認のハガキを同送する方向で検討していく。

3. 経常的研究交流委員会（川野担当常任理事）

3 月 4 日に「個性と障害」をテーマとした公開シンポジウムを準備中。発達障害の子ども達に対する個性という視点を検討。

4. インターネット運用委員会（山崎委員長）

尺度のライブラリについて，投稿フォームの検討のため，現在シミュレーション中である。

副委員長が，富重・戸梶先生から荒川歩・鈴木公啓先生に交代した。

ホームページの活性化について，いろいろと見直しが必要な時期である。

5. 日本心理学諸学会連合関係（杉山理事長）

日本心理学会からの認定事業の移譲については，具体的な動きはない。心理学検定については，推移を見守る。国家資格化については，具体的な動きはない。

諸学会連合からのアンケートには、国資格化が動かないようであるから、国資格化とは独立に心理学検定について考えていくことがよいと回答した。

6. 大会活性化特別委員会（内山担当常任理事）

優秀大会発表賞について審議し、以下の5名に決定した。

院生部門：若松輝美「FTFの自己開示とWeblog・日記との関連性の検討」、吉江路子「アマチュア演奏家の演奏不安—対人不安傾向及び完全主義認知のアセスメントを用いて—」、高橋雄介「怒りと不安の発生・維持に寄与するパーソナリティ特性—素因ストレスモデルに基づいた縦断的検討—」

一般会員：堀毛裕子「乳がんの病気体験と語り（Ⅱ）—Sense of coherenceの視点から—」、外山美樹「小学生のストレス反応の変化に及ぼすポジティブ・イллюージョンの影響」

7. 叢書刊行特別委員会（安藤寿担当常任理事）

10冊×3回を計画する。1000円程度のものを出版する案を検討している。A5判か四六判か小振りなもので原稿200枚程度である。若い研究者を中心にするが、例えば10冊とすると3冊程度は中堅にしたいと考えている。現在担当委員である安藤寿、安藤典、杉山、北村で話し合い、後に、編集委員会を立ち上げたい。

8. 選挙について（北村事務局長）

まず、名簿確認を4月中に行い、5月から6月中に仮の名簿（被選挙人名簿）を作成する。選挙後に新しい役員名で、新たな名簿を作成・印刷する。6月頃に、選挙用紙の配布、7月に投票・開票、承諾書送付。8月に常任理事選挙、承諾書。10月6日に新理事会発足。

未納者の被選挙人をどうするか審議し、2006年4月の時点において、2005年度の会費納入者に関しては未納を問わず選挙人および被選挙人とすることにした。その他、細かな申し合わせなどについて、選挙管理委員会で審議していくことにした。

9. 議事録について（北村事務局長）

保管用の原本とWeb掲載版、ニューズレターに掲載する原稿の3種を作成する。具体例を示し、意見等MLにて審議を行う。ニューズレターには、議題のみ取上げる。採択済み論文などは、Web版に載せる。Web版については、PDFで閲覧・印刷可とする。

10. 事務局報告・新入会希望者（北村担当常任理事）

新入会申し込み者6名の入会が承認された。退会希望者3名。宛先不明者12名。現在の会員数は、726名。

11. 心理学評論での紹介記事執筆者について

心理学評論から学会紹介文書の執筆が依頼されている。理事長と事務局長が担当することにした。

以上。